

(一社) 全国消防機器協会会长賞を



令和7年度「消防機器等関係者表彰」(一般社団法人全国消防機器協会会长表彰)が5月30日東京・港区元赤坂の明治記念館で開催されました。自家発電業界からは株式会社東京電機の社長であり、内発協の副会長を務められている(5月30日時点)塩谷智彦(しおや・ともひこ)氏が受賞されました。この表彰制度は、防災用・非常用発電装置、消火装置、消防ポンプ、火災報知器、避難設備といった消防機器等の開発・製造・普及に関して、永年にわたり取り組むと共に多大な功績を挙げられた関係者に顕彰するものです。

▼昭和56年(1981年)4月、非常・防災用発電機および発電装置・移動電源車の設計・製造・据付・メンテナンス等を幅広く事業を展開する東京電機製造株式会社(現 株式会社東京電機)に入社▼平成19(2007年)年6月、取締役(営業担当)▼平成23年(2011年)6月、常務取締役▼平成25年(2013年)6月、代表取締役 社長に就任(表彰式時点で現職)。

表彰式では初めに、主催者を代表して一般社団法人全国消防機器協会の金森賢治会長が式辞を述べま



金森会長から表彰状を授与された塩谷智彦氏

した。続いて、表彰状の授与が行われました。

塩谷智彦氏を始めとする54名の受賞者全員が、司会者により名前を読み上げられた順番に登壇して、金森賢治から表彰状を授与されました。次に一般社団法人全国消防機器協会新会長の板倉秀樹氏から、平成28年より9年間にわたり会長を務められました金森賢治氏、令和3年より4年間にわたり副会長を務められました伊藤龍典氏、平成29年より8年間に

株式会社東京電機の塩谷 ともひこ 智彦氏が受賞



消防機器等関係者表彰受賞者の記念撮影

わたり理事を務められました中島正博氏、3名に対して感謝状を贈呈されました。

引き続き、来賓を代表して消防庁次長田辺康彦氏が祝辞を述べられました。

表彰式の後、明治記念館内の別会場に移動して、表彰状の受賞者と感謝状の受領者を合わせた全員が一堂に会して記念写真の撮影が行われました。引き続き、受賞者、受領者がそれぞれ所属している団体や企業からもお祝いの為に関係者がお越しになり、「表彰祝賀会」が開催されました。

金森会長による式辞

本日表彰を受けられる方は54名の皆さんであります。長年に渡り消防機器の開発改良、製造、販売、普及または企業経営の向上発展、さらには関係団体の業務の推進及び拡充に貢献され、それぞれの分野に於いて優れた手腕を發揮された立派な功績を挙げられた皆様です。皆様の長年にわたる努力とご尽力に対し消防機器協会を代表致しまして心よりご称讃

令和7年度消防機器等関係者表彰式 一般社団法人全国消防機器協会



左：内発協 平野会長 右：塩谷智彦氏

申し上げます。

さて、私共消防機器業界は消防機器の開発、製造、普及等および我が国の消防・防災体制の取組など重大な責務を担っております。これらの業務を通じまして国民の皆様が安全に安心して生活できるよう鋭意に努力して参りたいと考えております。私共は今後さらに消防庁をはじめ関係各方面のご指導のもと消防関係団体間と一層綿密な連携を図り時代の要請や技術革新の動向に対応した新しい消防機器の開発、改良および普及に努めて参る所です。